

来年度の水質浄化対策について

1. アオコ対策

- ・ アオコ大量発生に伴う悪臭被害防止のためアオコ対策に取り組む。

(1) 攪拌 (県土整備部・海津市・国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所)

- アオコが発生した際に集積を抑制し、アオコレベル上昇を防止する方策として、風の影響等で特にアオコが集積しやすい地点等において、発生状況に応じて、経済性等の観点から適宜実施方法を検討のうえ、水面の攪拌を実施する。

(攪拌の実施例)

- ・ 高圧水をアオコ発生箇所へ放水することにより攪拌を行う。
(※H29、H30 に局所的集積範囲に対し試行)



写真 3.1 高圧水放水による攪拌作業状況(H30)

- ・ 船 (モーターボート、水質対策船) による攪拌

海津市所有の小型船 (モーターボート) や、必要に応じて国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所所有の水質対策船を借用するなどして攪拌を行う。(H23, 24, 28 実施)
(目安アオコレベル: 大江川全域で4以上)



写真 3.2 モーターボートによる攪拌(H28 実施)



写真 3.3 水質対策船による攪拌(H24 実施)

(2) フィルター材による除去・回収（県土整備部、海津市）

- アオコが大量発生した場合（目安アオコレベル3以上）、水中ポンプによる水循環とフィルター材によるSSの除去を実施する。実施箇所は、アオコの堆積による悪臭が懸念される馬目橋付近の水路上流端等とする。



写真 3. 4 水中ポンプによる水の汲み上げ(H28、H30、R1 実施)



写真 3. 5 フィルター材によるアオコの回収(H28、H30、R1 実施)

- ウキクサが発生した場合は、発生したウキクサが風の影響等で特にウキクサが集積しやすい地点等において、発生状況に応じて、水面のウキクサ回収を実施する。



写真 3. 6 ウキクサ回収状況 (H29 実施)

- ホテイアオイ等の水草が発生した場合は、発生状況に応じて、水面の水草回収を実施する。



写真 3. 7 水草除去回収状況 (R2 実施)

(3) 水流の創出 (県土整備部)

- アオコが局所的に集積する等、一定量の発生を確認した際は、水中ポンプを設置し、大江川に水流を創出して、アオコの集積を抑制する。

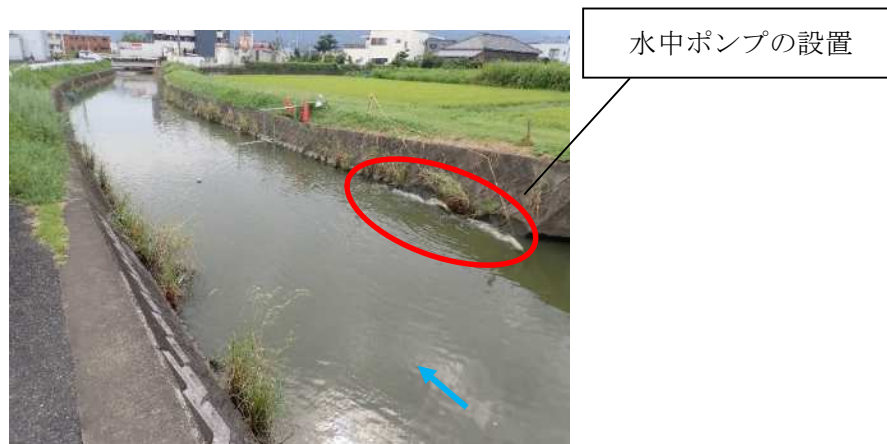


写真 3.8 水中ポンプの設置状況 (R2 試行)

(4) 樋門の開放 (海津市)

馬目橋北 平原排水路水門の開放

- 大江川の水温上昇によるアオコの発生が懸念される場合、アオコレベル2以下を基準とし、大江川支流区間に水流を発生させるため必要性に応じて樋門を開門する。



写真 3.9 水門の開放状況 (H28 実施)

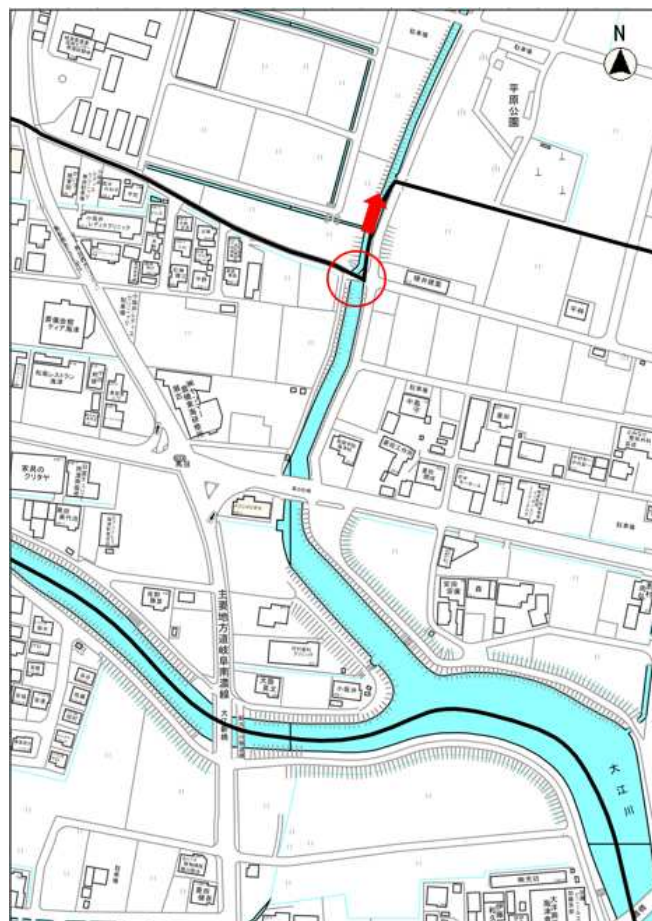


図 3.1 水門の位置 (H28 実施)

2. 流域対策

(1) 下水道整備の推進及び水洗化率向上に向けた取り組み（海津市）

- ・市の下水道整備計画に合わせて、水洗化率向上のため、更なる住民の理解促進を図る取り組みを継続して実施していく。

①水洗化率の低い地域の個別家庭訪問による推進活動

- 大江川流域を重点地区として、未水洗化家屋に対する個別の訪問調査を実施し、速やかな接続をお願いします。
- ・ 217戸へ郵送によるアンケート調査を実施。
 - 未処理の生活排水がアオコの発生要因の1つである点を強調し、説明を実施。

(参考)

これまでも未接続家屋の訪問調査を実施しており、各年度の実績は下記の通り。

H23…203戸、H24…150戸、H25…189戸

H26…127戸、H27…81戸、H28…48戸

H29…61戸、H30…568戸、R1…178戸

R2…543戸（郵送）、R3…217戸（郵送）

②工事説明会におけるPR

- 下水道工事实施計画区域での工事説明会で、住民に対し下水道の役割等の重要性について説明し、速やかな接続をお願いします。
- ・ 毎年7月から9月に工事实施地区の集会所にて開催
- ・ 区域内の住民に対し、公共マスの設置、工事完了後の速やかな接続をお願いします。
- ・ 工事完了後の各家庭の公共マスの排水検査の実施時においても、再度、速やかな接続をお願いします。

③市内各種団体や小学校に対する啓発活動

- 下水処理場見学を通して、下水処理の重要性について理解してもらい、各家庭における下水道接続への啓発に繋げる。
- ・ 市内の自治会、老人クラブ等の団体や、小学校（課外授業の一環）の児童等を対象に下水処理場見学を実施。
- ・ 浄化システム等のしくみを説明し、排水先の河川環境の向上に必要な施設であることを理解してもらう。

- ・併せて、各家庭排水の処理方法を説明し、水洗化の必要性を理解してもらう。
- ・実施予定件数…2団体程度

(参考)

- H 2 3…小学校2校、老人クラブ1団体、自治会1団体
- H 2 4…小学校4校
- H 2 5…小学校2校
- H 2 6…小学校1校、高校1校
- H 2 7…小学校2校
- H 2 8…小学校2校
- H 2 9…小学校3校
- H 3 0…小学校3校
- R 1…小学校4校
- R 2…小学校5校
- R 3…小学校2校

④市内全域に対する広報

➤ 市報により、市内全域に対し、下水道の重要性等についてPRする。

- ・今後も年1回程度実施していく。
- ・下水道整備と大江川浄化の関連についての特集記事の掲載を検討するなどして、下水道接続の重要性を啓発していく。

(2) 農地等における栄養塩類の削減対策（県農政部）

- ・「ぎふクリーン農業」の取り組み、畜産農家における適正処理の指導を継続して実施していく。
- ・令和2年に創設した「ぎふ清流GAP評価制度」を活用してGAP実践の指導によりさらなる環境保全に努める。

①「ぎふクリーン農業」と「ぎふ清流GAP」の推進

- 大江川流域及びその周辺の農家において、化学肥料等の使用量を削減する「ぎふクリーン農業」の取り組みを継続して実施していく。
- また、堆肥の適正使用等の項目を含む「ぎふ清流GAP評価制度」の活用を促し、さらなる環境保全に努める。

(参考)「ぎふクリーン農業」

化学肥料・化学合成農薬の適正で効率的な使用とそれらに代わる各種代替技術の利用により、化学肥料（窒素成分）及び化学合成農薬の使用量を従来の栽培と比べていずれも30%以上削減した栽培を行う取り組み

(参考)「ぎふ清流GAP評価制度」

GAP（適正農業規範）※の実践状況を県が評価する制度。

※農業者の生産活動において、食品安全、環境保全、労働安全等に配慮して持続可能な農産物供給につながる取組をすること

②畜産農家における適正処理の指導

- 大江川流域の畜産農家に対して、家畜排泄物の処理が今後とも適正に行われるよう、継続して指導していく。

表 3.1 大江川流域の畜産農家の家畜排泄物の処理状況

種別	処理方法
酪農家（4戸）	水分吸着資材（オガコ等）にふん尿の水分を吸着させ発酵・乾燥処理
肉用牛農家（2戸）	水分吸着資材（オガコ等）にふん尿の水分を吸着させ発酵・乾燥処理
養鶏農家 （採卵2戸、肉用鶏1戸）	発酵処理（2戸）及び乾燥処理（1戸）

3. 地域における取り組み

(1) 流域の住民団体と連携した大江川の巡回パトロールの実施（海津市）

- ・海津市において、引き続き巡回パトロール（定点監視・流域監視）を実施するとともに、流域の住民団体と連携した通報体制を継続していく。

①海津市による巡回パトロール

- 市建設水道部建設課職員により、下記「通常監視（定点監視）」「流域監視」を実施する。アオコの発生期には重点的に行う。

a) 通常監視（定点監視）

支川馬目橋地点（過去にアオコが大量に発生・腐敗した地点）において、定期的に水面の状況等を確認する。

- ・調査事項…観測地点において水位、水温等を計測

b) 流域監視

夏期のアオコ発生期に大江川全域をパトロールし、アオコ発生状況等の確認を行う。

- ・調査事項…アオコ発生状況（発生地点、発生レベル）

②流域住民団体と連携した通報体制

- 市内の住民団体である「海津市漁業協同組合」と連携し、適時アオコ監視を実施する。
- ・夏期において、適時、同団体に流域の巡回を行ってもらい、異常時には海津市建設課に通報してもらう。
（休日の場合は、宿日直へ通報が入り、建設課緊急連絡網により対応）
- ・アオコ、水草の発生時には除去作業への協力を要請する。
→必要に応じて、海津市から大垣土木事務所へ連絡し、連携して対処する。

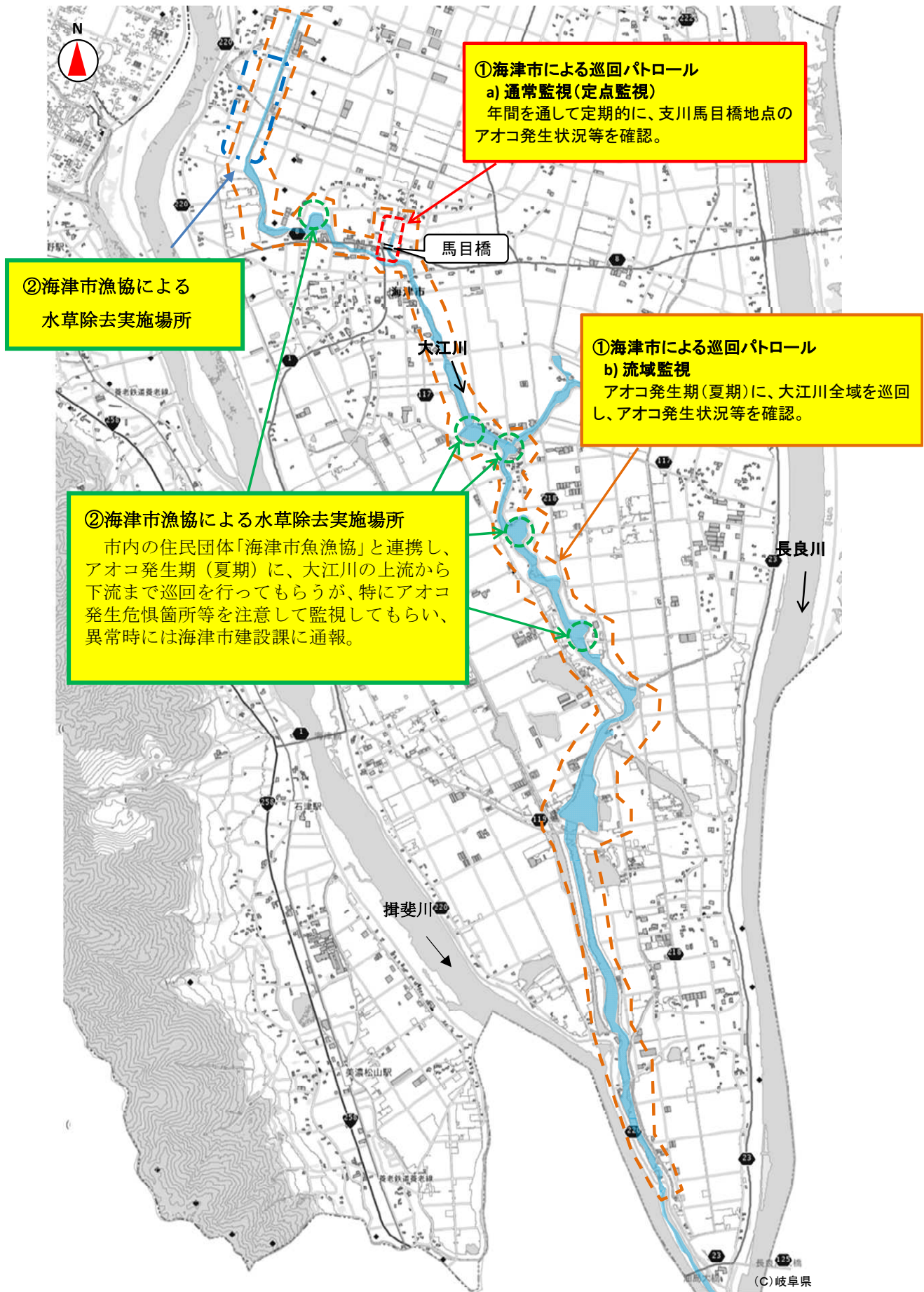


図 3.2 大江川の巡回パトロール体制

(2) 河川流域の清掃活動（海津市）

・「市内一斉美化運動」において、地域住民等と連携した河川流域の清掃活動を継続していく。

➤ 「市内一斉美化運動」において、ボランティアによる海津市全域の清掃活動を実施するにあたり、特に大江川沿いについて重点的に実施し、市民の河川美化に対する意識を高める。

・実施時期：令和4年6月5日、10月16日（予定）

・参加者…各回 約7,800人(見込み)

(参考)

令和2年度…新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

令和3年度…新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。